

カミノトピックス



安全性を分析し、生活をサポート

今回、千歳市向陽台にある『財団法人 日本食品分析センター』様をご紹介します。昭和32年に農林水産省の認可を受け設立された、全国に7事業所を展開する財団です。千歳研究所は6番目の施設として平成14年に開設されました。開設当初より物品の納入でよく訪問させていただいていますが、なかなか仕事の内容を伺う機会もなく、今回、総務課長の村上雅彦さんに取材させていただいたところ、意外なことがわかりました。



法人名にあるとおり「食品」を「分析」しているのかと思っていましたが、「実は千歳研究所は「食品」ではなく「医療機器」や「医薬品」など人体に直接触れるものの安全性を分析しています。具体的には注射針や心臓ペースメーカーなどが挙げられます。身近なものではコンタクトレンズや湿布薬なども含まれるんですよ。こちらで「分析」しているのは医療関連素材ですが、もちろん「食品」の分析も請けたまわることが出来ます。その場合、毎日運行している専用配送便にて、それぞれの分析項目を専門的に扱う事業所へ送り、そこで分析しています。食品関連では「おもちゃ」の分析も行なっています。「食品」で「おもちゃ？」とびっくりするかもしれませんが、おもちゃは小さいお子さんが触ったり口に入れたりするかもしれませんね。その安全性については「食品衛生法」に規制があるんです。おもしろいですよね。2年ほど前にはアメリカで輸入されたおもちゃから鉛が検出され騒ぎになったことがありました。輸入といえば、日本でも輸入餃子から農薬が検出されたことがありましたね。あの時は大量の分析依頼があり、分析を担当する多摩研究所（東京）は大変でした。そうそう、文具関係で「抗菌」を謳っている商品がありますよね。あの「抗菌力」の試験もやっているんですよ。昨今は衛生・安全性への注目が高まり、私たちの仕事も増えつつあります。千歳研究所は開所当初20名ほどの小さな所帯で始まり空き部屋も目立っていましたが、いまでは職員数80名ほどまで大きくなり、空き部屋も完全に埋まりました。」なんだそうです。私たちの日々の生活の中で、いろいろなものを安心してクチにしたり触れたり出来るのも分析によるサポートがあるからだとありがたく思いました。（談：E.S・岡田）



顕微鏡や機械、人の目でも、細かい作業がなされています



←保存安定試験装置
長期の保存により、成分がどのように変化、残留するか試験する装置です。
2年位試験する場合もあるそうです。

学ぶことから...

今回、千歳市真々地にある『職業訓練法人千歳地方職業訓練協会 千歳職業技術専門学校』様をご紹介します。建築塗装や建築木材を始め、様々な職業の訓練を行っています。今回、パソコンなどOA機器の導入をいただき、パソコンコースについて訓練部長さんに伺いました。



「最近、ほとんどのデスクワークがパソコンを使っのWordによる文書作成や提案書作成、Excelを使っの表計算などが必修になってきています。そこで、基礎コース、検定コース（2級、3級）を用意し、個人の能力にあったコース選択で勉強しています。授業も1日2時間程度で、年齢制限もありません。次の就職のため、また、スキルアップのためと皆さんとても熱心ですよ。」との事でした。確かに、取材させていただいた日も、若い方から年配の方まで、皆さん熱心に勉強している姿に、パソコンをあまり得としない私にとっては時間を見つけて勉強しなければと触発されました。

パソコンについて勉強したいけど難しそうだし・・・と思わず、チャレンジしてみたいか？
また、パソコン以外の訓練もありますので、問い合わせしてみたいか？
勉強するのに歳は関係ない！と実感しました。（談：E.S・藤井）



最新の機種を使って勉強できます。
パソコンコースは、
平日 AM10:00~12:00、PM13:00~15:00の時間帯です。
お問い合わせ先：(0123)22-2969



ガンバレ！！穂積雅子選手！！

いよいよバンクーバーオリンピックが近づいて参りました。今回の冬季オリンピックには千歳出身の選手の活躍に期待されています！

スピードスケート女子長距離のホープとして大きな期待を集める「穂積雅子」選手です。(ダイチ株式会社 所属) 私がカミノに入社した平成10年、「うちの6年生にすごい子がいるんだよ」と、日の出小学校の先生から教えていただいたのが彼女でした。ご本人とは面識は無いのですが、青葉中学校、駒澤大学付属苫小牧高等学校へと進学された後も、新聞等でご活躍はずっとチェックしていました。

今期は名実ともに日本のトップ選手となり、先日のワールドカップ開幕戦ベルリン大会でも女子3000mで自己最高の2位となり、千歳市民は勿論のこと多くの国民が、オリンピック出場、そしてメダル！と期待してしまうほどの大活躍なのです。

先日の「広報ちとせ」でも紹介されておりましたが、平成21年度の千歳市スポーツ奨励賞も受賞されました。

これから寒い寒い冬本番ではありますが、多くの人々に夢や希望を感じさせてくれている穂積選手に熱い声援をみんなで送りましょう。「ガンバレ！日本！！ ガンバレ！穂積選手！！」 (談；E.S・国府田)



1924年、シャモニー（フランス）で第1回冬季オリンピックが開催されました。

1940年、44年は第二次世界大戦で中止となりましたが、日本での開催は、72年にはアジアで初開催となる札幌オリンピック。国道36号線を聖火ランナーが札幌目指して走っていた記憶があります。そして、20世紀最後の冬季オリンピックが98年に長野で開催されています。今年2月12日～28日まで開催されるカナダ・バンクーバーオリンピック。元スピードスケート五輪代表の橋本聖子さんが「オリンピックには魔物が棲んでいる」とお話ししましたが、今回はどんなドラマがあるのでしょうか……。選手の皆さんのがんばりを応援しましょう。

●「ECOミニ展示会」

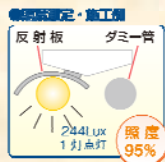
と き：2/4 (木) 10:00~19:00

と ころ：カミノサポートパーク Kapass

日本は、2009年9月の国連気候変動サミットにおいて、温室効果ガス排出量を2020年までに1990年比の25%削減することを表明しました。

まずは、身近なことから始めてみようと考え、LEDを使った照明や廃油ストーブの展示、オールシーズンワイパーのご紹介など企画しました。

「塵も積もれば、山となる」のことわざの如く、小さなことが、大きな成果へとつながります。



●「RISO 印刷機ミニ展示会」

と き：2/16 (火)・17 (水) 10:00~18:00

と ころ：カミノサポートパーク Kapass

1月に理想科学工業から発売されたA3両面印刷機「RISOGRAPH MD6650」を北海道では2番目に展示することができます。併せて、フルカラー印刷機「ORPHIS X9050」も展示します。

カラー印刷の重要性はわかるがコストが気になる・・・など、印刷のお悩みはつきないもの。ご来場いただき、皆様のお悩みや問題の解決のお役立ちになればと思います。データをお持ちいただければテスト印刷いたします。



強力な助っ人です！！

今や、インキ浸透印といえば「シヤチハタ」と、社名が代名詞にもなっていますが、他にも社判や印鑑を捺印するためのスタンプ台や朱肉など、シヤチハタ商品は事務関係で多くの方にご愛用いただいていると思います。そこで、今回は『シヤチハタ株式会社』様の札幌店営業主任・斉藤雅裕さんをご紹介します。

当社を担当いただいているメーカー・問屋さんの中でも若手(!?)で、無理難題をお願いすることも多々。新商品やキャンペーンの企画をよくもっていただき、昨年の「キャップレス9 特価キャンペーン」は、予想を上回る数量を販売することができました。

「当社でインキ浸透印は『Xスタンプ』という商品名なのですが、やはりお客様からは「シヤチハタ」と言われることが多く、正に浸透しているなど感じます。別注のXスタンプも研究努力で、納期も短くなりました。場合によってはゴム印よりも安くなる場合もありますので、ご相談ください。

よく「染料インキ」と「顔料インキ」の違いを聞かれることがあるのですが、染料インキはインクの粒子も小さく紙に浸透しやすい性質があり、比較的乾きが早い。顔料インキは粒子が大きく、捺印物の表面に乗った状態で乾くので、発色が良く、乾くと耐水・耐光に優れています。業務効率を上げるためにも捺印するものによってインキを選ぶ必要があります。Xスタンプの補充インキを間違えて、使えなくなったお話もよく聞きます。適切なインキを補充してください。」

私たちも、アドバイスをいただき良い商品をお届けできるようがんばります。



2010年 1月 29日 VOL. 55

発行元：(株)カミノ

TEL：0123-23-4255 / FAX：0123-24-1381

e-mail：kamino@rose.ocn.ne.jp